

ATO4NEN

**パズル・コメに
参加しよう**

10/4
まで



**国のエネルギー基本計画の案ができて、
国民の意見が募集されています(パブコメ)。**

国の審議会での議論は、原発や化石燃料で既得権益を持つ産業界の声が大きく、国際的な潮流に逆らい、今まさに行うべきエネルギー転換を先送りしようとするものでした。

このままでは、一部企業の目先の利益のために、私たち、そして若い世代が犠牲になってしまいます。

**計画に直接声を届けられる貴重な機会です。
ぜひ、これから話すポイントを参考にパブコメを出して
みなさんの声を届けましょう！**

エネルギー
基本計画案を
6つのポイント
からお話します。

プロセス

限られたメンバーによる議論。
市民の意見が反映されていない！



- ▶ 市民参加 >
- ▶ 市民意見の反映 >

気候危機

計画の内容や目標では、
気候危機を回避できない！



- ▶ 気候危機 >
- ▶ 削減目標 >

原子力

いつまで原発を
使い続けるつもり？



- ▶ 倫理に反する >
- ▶ 現実性がない >
- ▶ 長期運転は高リスク >
- ▶ 新增設・リプレース >

4

石炭火力・化石燃料

石炭ゼロは世界の流れ、
なぜ日本は乗れないの？



5

省エネ

わたしたちの意識や行動で、
もっと省エネは進められる！



6

再エネ

自然や地域に配慮した
再エネが気候危機回避のカギ！



エネルギー基本計画(案)の2030年の電源構成

再エネ **36~38%**

水素・アンモニア **1%**

原子力 **20~22%**

LNG **20%**

石炭 **19%**

石油等 **2%**

1

プロセス

**限られたメンバーによる議論。
市民の意見が反映されていない！**



市民参加

気候変動の影響を大きく受ける若い世代を含め、市民が参加する機会がほとんどないまま、限られたメンバーによる審議会での議論で、案がまとめられました。

市民の意見の反映

最終段階のパブリックコメントのみでは、市民の意見の反映に不十分。各地での意見聴取会や討論型世論調査など、複数のしくみが必要です。

2

気候危機

計画の内容や目標では、
気候危機を回避できない！



気候危機

世界各国が、破局的な気候変動を避けるため、地球の平均気温上昇を1.5°Cまでに抑えよう、と決めました。でもこの計画案では、それが守れません。

削減目標

2030年までの温室効果ガス排出削減目標は、2013年比で46%削減ですが、これでは気候危機は回避できません。1.5°Cまでに抑えるには、世界全体で温室効果ガスを半減、先進国である日本はさらに大幅な削減が必要です。

3

原子力

いつまで原発を
使い続けるつもり？



事故と被ばく、廃棄物 原発について2050年まで「必要な規模を持続的に活用」するとしています。

現実性もなく高リスク 2030年にも原子力を20～22%利用し続けることになっています。50年超の老朽原発や震災などで被災した原発、まだ建設途上の原発も含めて稼働させる想定です。

次世代炉など

2050年に向けて次世代炉を開発していくとされています。

4

石炭火力・化石燃料

石炭ゼロは世界の流れ、
なぜ日本は乗れないの？



2030年石炭火力ゼロへ
計画案では、石炭火力発電を2030年に19%も使うことになっています。CO2排出が大きく大気汚染の原因ともなる石炭火力は、一番先にやめなければなりません。新增設は中止し、2030年にはゼロにしなければなりません。

2050年化石燃料ゼロへ
2050年には、天然ガスや石油もふくめ化石燃料はゼロにする必要があります。

4

石炭火力・化石燃料

石炭ゼロは世界の流れ、
なぜ日本は乗れないの？



水素・アンモニア

水素やアンモニアを活用して「ゼロエミッション火力」をめざすと書かれていますが、水素もアンモニアも、大部分を化石燃料からつくる想定です。化石燃料を使い続ける口実となっています。

不確実・高リスク

二酸化炭素回収貯留利用（CCUS）は、高コストで環境・社会影響の懸念もあり、実現のめども立っていません。現在の日本の「カーボンニュートラル」はこれらに頼るものです。

5

省エネ

政府・企業のしくみづくりで
もっと省エネは進められる！



省エネたった16%

現状では、最終エネルギー消費について、2019年度から約16%の削減にとどまっています。大量生産・大量消費の見直し、機器などの省エネ化、建物の断熱などでもっと大きく減らせます。

電力はほぼ削減なし

電力についても、2020年度とほぼ同じで削減が考慮されていません。電力量を減らせば、再エネの割合を高められます。

6

再エネ

**自然や地域に配慮した
再エネが気候危機回避のカギ！**



2030年再エネ36-38%

低すぎる。再生可能エネルギーは2030年に少なくとも50%以上、2050年には100%にする必要があり、それが可能であるという研究結果も複数あります。

地域にねざして

建物の上や駐車場、工場跡地などでの太陽光発電などを最大限進めることが第一。その他の再エネも、山林等を保護し、持続可能で地域にねざしたかたちで、地域と対話しながら進めるていくことが必要です。

エネルギー需要

363百万kl



2013年度

省エネの野心的な深掘り
62百万kl程度
(対策前比▲18%程度)

(2013→2030)
経済成長 1.4%/年
人口 0.6%減
旅客輸送量 2%減



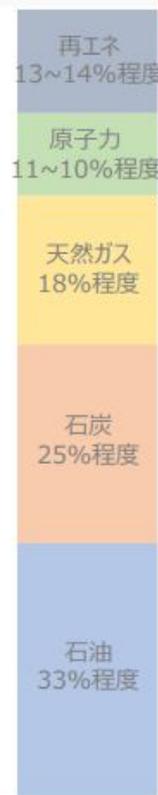
2030年度



2030年度
(H27策定時)

一次エネルギー供給

489百万kl



自給率
24.3%
程度

2030年度
(H27策定時)

水素・アンモニア
1%程度

430百万kl

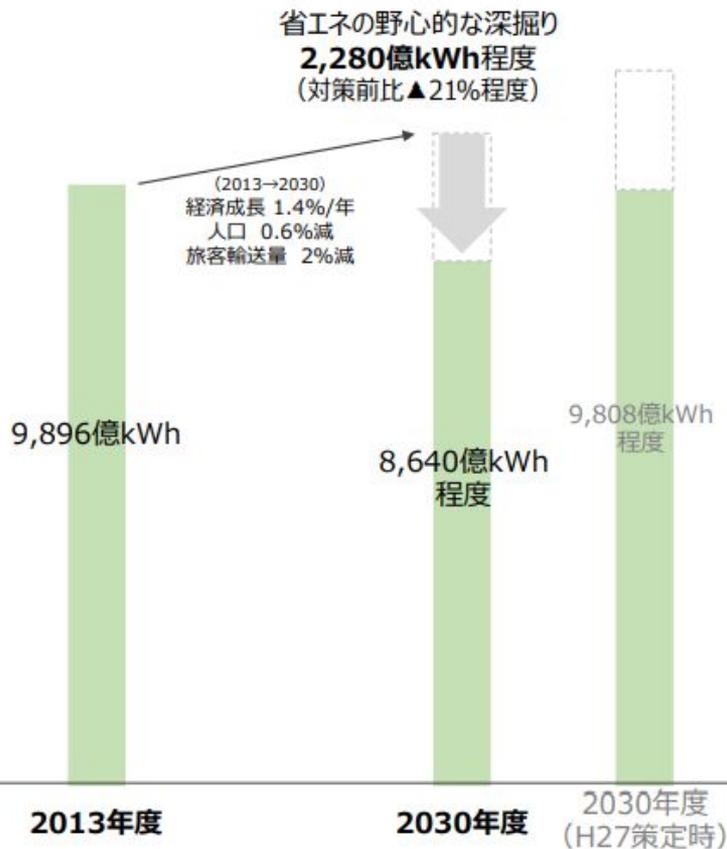


自給率
30%
程度

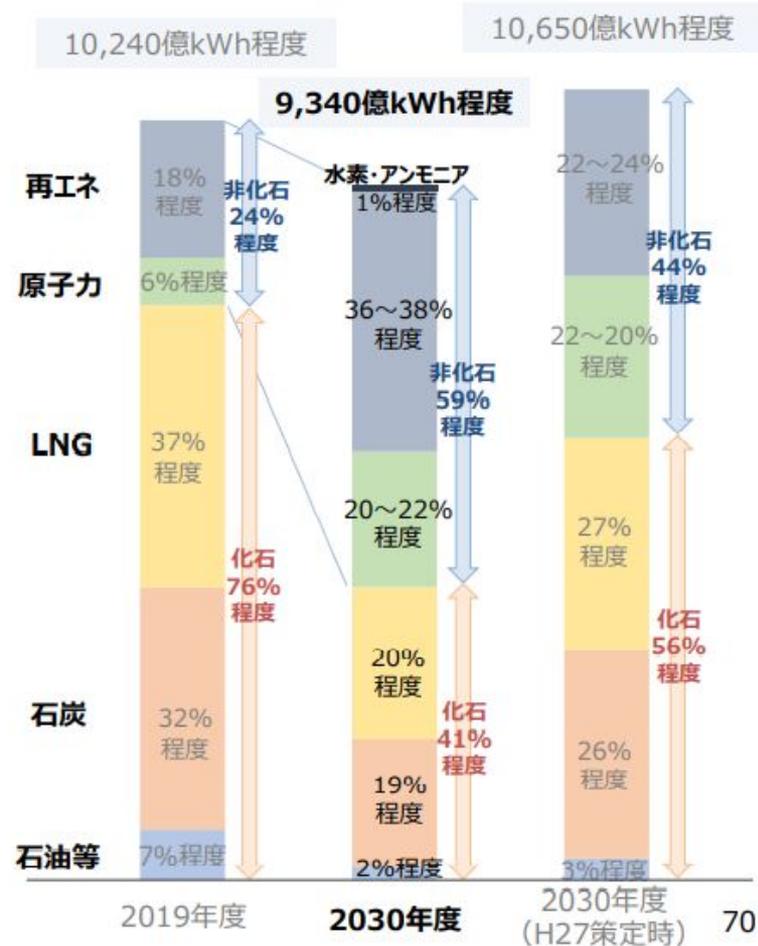
2030年度

- ※ 再エネには、未活用エネルギーが含まれる
- ※ 自給率は総合エネルギー統計ベースでは31%程度、IEAベースでは30%程度となる
- ※ H27以降、総合エネルギー統計は改訂されており、2030年度推計の出発点としての2013年度実績値が異なるため、単純比較は出来ない点に留意

電力需要



電源構成



Q：コメントページにはどうやって行けばいいの？

「エネルギー基本計画 パブリックコメント」で検索

または e-gov サイトから「パブリックコメント」、「新着情報」で9月3日開始のものを探す。

→

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=620221018&Mode=0>

「あと4年」の
ウェブサイトから
もいけます！



パブコメに参加しよう！

締め切り：10月4日

30日 16時 12分 48秒

「エネルギー基本計画」が最終段階を迎え、パブリックコメントが開始しました。計画に直接声を届けられる貴重な機会です。ぜひご参加ください！

参加する

第6次エネルギー基本計画（案）に対するパブリックコメント（意見募集）

令和3年9月3日より、第6次エネルギー基本計画（案）に対するパブリックコメント（意見募集）を開始しました。

▶ [募集ページ（e-Govサイト）](#) 

意見の対象

▶ [エネルギー基本計画（案）](#)（PDF形式：931KB） 

関連資料

▶ [エネルギー基本計画（案）の概要](#)（PDF形式：854KB） 

13ページの概要スライド

▶ [2030年度におけるエネルギー需給の見通し（参考資料）](#)（PDF形式：5,349KB） 

87ページの関連資料スライド

 このページのリンク

https://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/opinion/public.html

- ① 文書名をすべてクリック ② 確認しましたの □を✓ ③ 意見入力をクリック

意見募集要領（提出先を含む）	意見公募要領 PDF	①
	意見様式 PDF	
命令などの案	エネルギー基本計画（案） PDF	
関連資料、その他		
資料の入手方法	経済産業省資源エネルギー庁長官官房総務課にて配布	
備考		
問合せ先 （所管省庁・部局名等）	資源エネルギー庁長官官房総務課 パブリックコメント受付担当宛	

意見提出前に、[意見募集要領](#)（提出先を含む）を確認してください。

意見募集要領（提出先を含む）を確認しました。

②

③ 意見提出には画像や音声による認証が必要です。

戻る

意見入力へ

動画もあります。

Q：パブリックコメントというのは、どんな効果があるのですか？

A：パブリックコメントが提出されないと、「市民からの意見がなかった」ということになってしまいます。

パブリックコメントを出すことによって「これだけ意見がある」というのが数字になります。

政府は何件集まったかについて公開するのでみんなの意見が「見える化」されます。

そのうちの何件がどういう意見だったのかについて、集計をしないこともあります。集計するよう求めて集計されればそれも「見える化」されることになります。政府が集計しなくても、パブリックコメント自体は個人情報をおのづか公開されるので、NGOが集計したり、メディアが集計したこともあります。

Q：何をかけばいいですか？

A：パブリックコメントは、市民の意見ということなので、伝えたいことを書いていただければ大丈夫です。思いをていねいに伝えてください。

一言でもOKです。

あと4年のウェブサイトにある「参考例」(example)」を
みてみてください。

<http://ato4nen.com/public-comment/>

他の人はどう書いている？

example



Q：意見は計画に本当に反映されるのでしょうか？

A：提出された意見は、資料として提示されます。集約され、それに対して見解をつけて公開されます。

「反映」されるかといえば、必ずしもそうとは言えません。

これまで募集されていた「意見箱」では、集まった意見は審議会の資料としてウェブサイトに掲載、また委員の机の上に置かれはしますが、その意見を検討・反映させるプロセスはなく、形式的な意見募集にとどまっているとも言えます。

キャンペーンでは、そうした点も含め、意見を反映させるプロセスを明確にすべきという問題提起をしていきます。

選挙で、市民の声を反映させる政治家を選ぶのも大事ですね！

書いてみよう！ もくもくと書いてみるタイム

必須 提出意見

0/6000

あいうえお…

**一つの意見フォームにつき、
一つの意見をかくよう
推奨されています。**

あなたの書いたパブコメを发表しよう！

必須 提出意見

0/6000

あいうえお…

ATO4NEN

**パズルに
参加しよう**

10/4
まで

一つの意見フォームにつき、
一つの意見をおくよう推奨されているので、いくつでもお出しましょう！

家族やお友だちにも、提出をお呼びかけてください。

おわり

あと4年キャンペーン



参考情報

[あと4年キャンペーン パブコメに参加しよう](#)

気候変動

[ゼロから学ぶ気候変動](#)

石炭火力

[Japan Beyond Coal 日本の石炭火力発電所を2030年までにゼロにしよう](#)

原子力

[原発が温暖化対策にならない5つの理由](#)

再生可能エネルギー

[自然エネルギー100%プラットフォーム リーフレット](#)